

総則

1. 基本方針

社会福祉法人あきの会は、障がい児者の地域生活支援に貢献することを理念とし、多岐にわたる障がい福祉事業を展開している。その中でも、博多区千代にある2つの拠点（入所・短期入所・生活介護の事業を実施）では、主に医療的ケアを必要とする重度心身障害児者を対象としており、支援なくして生活を維持することが困難であり、その生命を守り生活を支援するため以下の3点を基本方針とする。

- ◆必要な医療的ケアの提供を行うこと
- ◆協力病院との連携のもと人命優先すること
- ◆地域災害弱者の災害拠点となること
短期及び生活介護利用者及び地域の障がい児者受け入れを行う

2. BCP 策定体制

事象の発生→役職者→法人事務局→理事長

3. 現状の把握

(1) 建物

建物名	階数	用途	耐震化	EV 閉込防止
虹の家	5階	外来・病棟・生活介護・事務等	調査予定	機能無し
式番館	4階	短期入所・日中一時・理事長室 事務局・職員休憩場所等	調査予定	機能無し

(2) ライフライン

虹の家

	耐震化	バックアップ	燃料等備蓄量	燃料等供給先
電気	無	自家用発電機	35 リットル	電気保安協会
電気		非常用発電機	LPG50kg8本	福岡酸素
電気		非常用発電機	ガソリン 20L	虹の家
上水	無	受水槽	24000 リットル	水道局
下水	無	無		
ガス	無	無		西部ガス

式番館

電気	無	無		
上水	無	受水槽	9000 リットル	水道局
下水	無	無		
ガス	無	無		西部ガス

4. リスクの把握

(1) ハザードマップなどの確認

1. 洪水浸水被害想定地域外・高潮水深想定被害地域内。
2. 地震・高潮・津波等の被害は危険域に存在する。

福岡県における想定地震

◆警固断層南東部	活断層の長さ	20 km
	断層幅	13 km
	マグニチュード	7.0～7.2

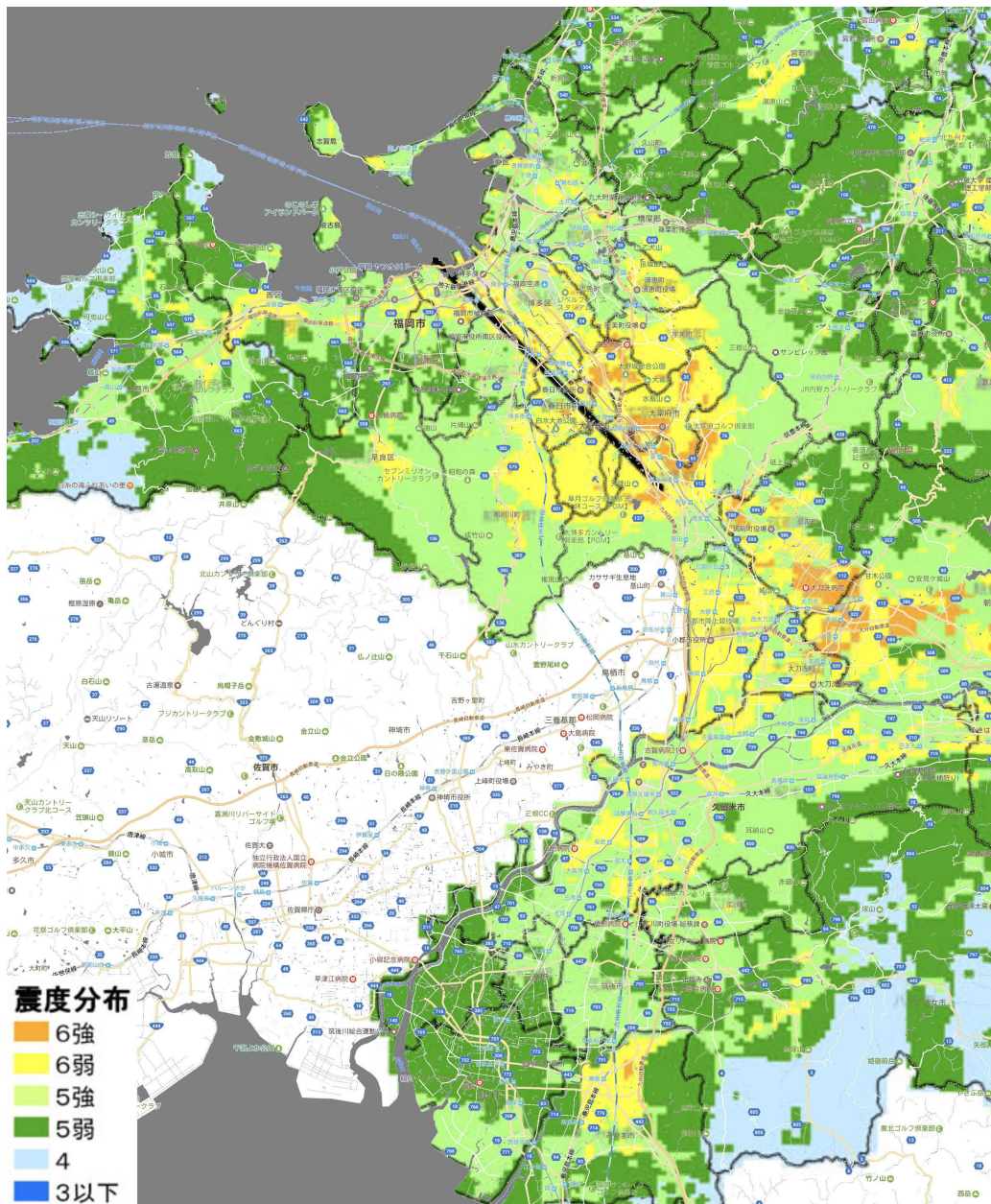


図 2.2-2 (12) 震度分布図【警固断層（南東部）（破壊開始：北西下部）】

4. 優先業務の選定

(1) 優先する事業

<p><優先する事業></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 療養介護 (2) 医療型障がい児入所 (3) 医療型短期入所（災害発生時に利用中の方） <p><当座停止する事業></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 就労支援事業 (2) 生活介護事業 (3) 外来診療 (4) 計画相談 <p><通所系利用者の安全確保のために行う事業></p> <p>※被災の状況により変動あり</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 短期入所事業

(2) 優先する業務

上記優先する事業のうち優先する業務を選定する。

(記入フォーム例)

優先業務（本館）	必要な職員数			
	朝	昼	夕	夜間
バイタルチェック	1人	1人	人	1人
排泄介助	4人	4人	4人	2人
食事介助・与薬	5人	5人	5人	人
経管栄養・与薬	2人	2人	2人	1人
吸引・呼吸器管理等	2人	2人	2人	2人

優先業務（貳番館）	必要な職員数			
	朝	昼	夕	夜間
バイタルチェック	1人	1人	人	1人
排泄介助	2人	2人	2人	1人
食事介助・与薬	2人	2人	2人	人
経管栄養・与薬	1人	1人	1人	1人
吸引・呼吸器管理等	1人	1人	1人	1人

5. 現状の課題と対策

検討部署	区分	項目	課題内容	対応の方向性	関係部	目標完了期限
療養部	地震	停電	初期対応	電源確保及び人命優先行動	事務	令和6年度

療養部	地震		夜間の連絡体制	夜間の人員確保	事務	令和6年度
事務	地震		備蓄対応	備蓄の配布方法	療養部	
事務	地震		福祉避難所設立	流れの確認	事務	

6. 訓練

訓練実施の方針、頻度、概要等について記載する。

人命の安全確保とともに被害の軽減を図るため職員全員が周知し実践に対応できるよう訓練を行う。
 全職員対象において年2回以上の避難訓練を実施
 部分訓練および総合訓練（夜間想定あり）
 ・消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練
 通報から消火までの模擬訓練実施
 模擬消火器を使った消火訓練
 シーツを使用した避難誘導の仕方等

*訓練が一過性で終わらず、継続して実施することを担保する。

7. 評価と改善

評価プロセス（●●委員会で協議し、責任者が承認するなど）や定期的に取り組の評価と改善を行うことを記載する。

訓練
 災害対策委員会にて年間計画にて訓練実施（毎月）を計画
 ↓
 部分訓練・総合訓練実施（委員が指導のもと）
 ↓
 災害対策委員会にてサイボウズワークフローにて報告書を提出し全職員の周知
 ↓
 次回の改善につなげる

*継続してPDCAサイクルを機能

I. 自施設での対応（自助）

1. 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

① 人が常駐する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
1階～4階	キャビネットにおける耐震処置	
2階・3階	車椅子等のストッパー	震動による作動防止
2階・3階病室	入口の確保	震動による開閉の不具合防止
1階～4階	離窓での配置	ガラスによる被害防止

② 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
配管部	定期的点検実施	固定状況の確認
外壁	外壁調査依頼予定	業者委託
ブロック塀	ひび割れ等の目視点検	
スプリンクラー設備	定期的点検実施	業者委託
1階～4階	天井吊りの器具等の廃止	照明その他
1階～3階	大型機器の転倒防止	テレビ等

※設備等に関しては、定期的な日常点検を実施する。

(2) 電気が止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と自家発電機もしくは代替策

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
人工呼吸器	非常用発電機
照明	懐中電灯および送迎車
トイレ	手動トイレ使用
エアコン	非常用発電

(3) ガスが止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と代替策

稼働させるべき設備	代替策
厨房	非常食提供
入浴	清拭

(4) 水道が止まった場合の対策

被災時に必要となる飲料水および生活水の確保

① 飲料水

飲料水	入院患者および利用者用に3日間の備蓄 2L ペットボトル 98本 500ml ペットボトル 312本 (3日分 52人分)
-----	--

② 生活用水

生活用水	備蓄飲料水のうち半分を利用 消費期限が過ぎた備蓄用飲料水を利用 受水槽 24000リットル・9000リットル
------	--

(5) 通信が麻痺した場合の対策

被災時に施設内で実際に使用できる方法(携帯メール)などについて、使用可能台数、バッテリー容量や使用方法

→ 携帯電話/携帯メール/PHS/PCメール/SNS等

PHS 院内 18台 (虹の家⇄式番館 共有可能) 組織メンバーはそのまま現状運用 その他は必要担当者へ受渡し一覧表を作成
携帯電話 院内 9台 (充電器接続状態で保管) 1F 事務所で管理中→組織メンバー管理へ 内 1台が携帯メール使用可能→利用者家族との連絡用

(6) システムが停止した場合の対策

電力供給停止などによりサーバー等がダウンした場合の対策（手書きによる事務処理方法など）。

浸水リスクが想定される場合はサーバーの設置場所。

データ類の喪失に備えて、バックアップ等の方策。

本館 4 階にて電子カルテサーバー管理中
電子カルテ稼働不可の場合は、紙カルテに移行。
医事コン→毎日 USB でバックアップ
福祉データ→毎日 USB でバックアップ

(7) 衛生面（トイレ等）の対策

被災時は、汚水・下水が流せなくなる可能性があるため、衛生面に配慮し、トイレ・汚物対策を検討。

① トイレ対策

【利用者】

紙おむつ使用
感染ボックスの整備

【職員】

蓄便袋や凝固剤等検討中

② 汚物対策

排泄物や使用済みのオムツなどの汚物は、以下の方法で処理を実施する。

感染ボックス以外に施設外の産廃用ゴミ捨場を使用

(8) 必要品の備蓄

被災時に必要な備品はリストに整理し、計画的に備蓄する（多ければ別紙とし添付す

る)。定期的にリストの見直しを実施する。備蓄品によっては、消費期限があるため、メンテナンス担当者を決め、定期的に買い替えるなどのメンテナンスを実施する。

【飲料・食品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
マジックライス	100	2025.4	備蓄庫	管理栄養士
お味噌汁	60	2024.10	備蓄庫	管理栄養士
きんとき豆	50	2025.4	備蓄庫	管理栄養士
ビーフカレー	48	2025.5	備蓄庫	管理栄養士
煮込ハバーグ	50	2025.3	備蓄庫	管理栄養士
野菜ジュース	30	2025.3	備蓄庫	管理栄養士
濃厚流動食	常時 1 週間分		厨房内	管理栄養士

【医薬品・衛生用品・日用品】作成担当：小山・舟越・柏原

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
紙おむつパンツ (M)	2880 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
紙おむつパンツ (LL)	80 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
紙おむつパンツ (XL)	60 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
紙おむつテープ (S)	264 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
紙おむつテープ (S～M)	320 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
紙おむつテープ (M)	60 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
紙おむつテープ (M～L)	336 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
紙おむつテープ (L)	104 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
尿取りパッド (ワイド)	720 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
尿取りパッド (デイロング)	1080 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
尿取りパッド (スーパーロング)	540 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
尿取りパッド (ストロング)	324 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
尿取りパッド (ナイト男性)	750 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
使い捨てグローブ	6000 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
サージカルガウン	300 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
サージカルマスク	6000 枚	—	備蓄庫	災害対策委員
ディスポタオル			倉庫	療養所属長
四つ折りガーゼ	1200 枚		倉庫	療養所属長

ネラトンチューブ 8.10.12Fr	各 50 本		倉庫	療養所属長
ネラトンチューブ 8 Fr 15 cm	250 本		倉庫	療養所属長
吸引チューブ 8.10.12Fr	各種 500 本		倉庫	療養所属長
気切用チューブ 個人サイズ別	各 2 個		倉庫	療養所属長
経管栄養チューブ 個人サイズ別	各 2 個		倉庫	療養所属長
経管栄養ボトル	50 個		倉庫	療養所属長
経管栄養セット	50 個		倉庫	療養所属長
黄シリンジ 5,10,20,50ml	各種 100 本		倉庫	療養所属長
人工呼吸器回路 セット	2 個		倉庫	療養所属長

医薬品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
マーズレンS配合顆粒 0 (g)	300	2023.10	薬局	薬剤師
ミヤBM細粒 1 (g)	350	2024.2	薬局	薬剤師
バルプロ酸ナトリウム細粒 20%	500	2022.3	薬局	薬剤師
カルバマゼピン錠 200mg	300	2023.6	薬局	薬剤師
イーケブラドライシロップ 50%	250	2023.7	薬局	薬剤師
フェノバル散 10%	30	2024.9	薬局	薬剤師
フェノバル錠 30mg	50	2023.7	薬局	薬剤師
セレニカR顆粒 40%	100	2022.8	薬局	薬剤師
マイスタン細粒 1%	50	2022.11	薬局	薬剤師
リボトリール細粒 0.1%	50	2023.4	薬局	薬剤師
ランドセン錠 0.5mg	30	2024.6	薬局	薬剤師
ランソプラゾールOD錠 15m g	30	2023.6	薬局	薬剤師
ファモチジン D 錠 20mg	50	2022.7	薬局	薬剤師
アレビアチン錠 100m g	30	2025.11	薬局	薬剤師
ビムパット錠 5 0 m g	50	2023.12	薬局	薬剤師
レボフロキサシン細粒 10%	100	2022.4	薬局	薬剤師
フロモックス錠 100mg	50	2023.1	薬局	薬剤師
カルボシステイン錠 250m g	100	2022.12	薬局	薬剤師
アンブロキソール塩酸塩錠 15m g	100	2023.6	薬局	薬剤師
ジアゼパム錠 2 m g	50	2022.8	薬局	薬剤師
ソラナックス錠 0.4m g	30	2024.1	薬局	薬剤師
エチゾラム錠 0.5m g	100	2023.12	薬局	薬剤師
トリアゾラム錠 0.25m g	30	2023.5	薬局	薬剤師
ブロチゾラム錠 0.25m g	50	2023.8	薬局	薬剤師
サイレース錠 1m g	30	2024.1	薬局	薬剤師
ナウゼリンOD錠 10m g	100	2023.4	薬局	薬剤師
マグミット錠 2 5 0 m g	300	2022.12	薬局	薬剤師
マグミット錠 3 3 0 m g	300	2023.1	薬局	薬剤師
ジメチコン錠 4 0 m g	200	2024.1	薬局	薬剤師
PL配合顆粒	100	2023.5	薬局	薬剤師

カフコデN配合錠	100	2022.10	薬局	薬剤師
コロナール錠 200m g	100	2021.12	薬局	薬剤師
アンヒバ坐剤小児用 200m g	50	2024.8	薬局	薬剤師
ロキソニン錠 60m g	100	2023.5	薬局	薬剤師
ツロブテロールテープ 2mg	100	2023.6	薬局	薬剤師
インターール吸入液	60	2023.8	薬局	薬剤師
メプチン吸入液ユニット 0.3ml	30	2022.12	薬局	薬剤師
アレジオン錠 20m g	20	2023.4	薬局	薬剤師
フェキソフェナジン塩酸塩錠	100	2023.6	薬局	薬剤師
トリヘキシフェニジル塩酸塩錠	50	2022.5	薬局	薬剤師
トラゾドン塩酸塩錠 25m g	50	2023.1	薬局	薬剤師
リスペリドン錠 1 m g	100	2022.12	薬局	薬剤師
クエチアピン錠 25m g	100	2024.1	薬局	薬剤師
エビリファイ散 1%	50	2023.6	薬局	薬剤師
アムロジピン錠 5m g	50	2022.10	薬局	薬剤師
ミドドリン塩酸塩錠 2m g	100	2022.3	薬局	薬剤師
ブロムヘキシン塩酸塩錠 4m g	200	2023.6	薬局	薬剤師
ギャバロン錠 10mg	100	2024.8	薬局	薬剤師
チザニジン顆粒 0.2%	100	2022.5	薬局	薬剤師
イノベロン錠 200mg	100	2024.3	薬局	薬剤師
つくしAM 配合散	100	2024.7	薬局	薬剤師
アスパラカリウム錠 300mg	100	2023.1	薬局	薬剤師
モニラックシロップ 65%10ml	50	2021.6	薬局	薬剤師
エルカルチンF F 内用液 10%ml	500	2022.6	薬局	薬剤師
トリクロリールシロップ 10%ml	500	2024.1	薬局	薬剤師
ソリタ T 配合顆粒 2号 包	50	2022.10	薬局	薬剤師
ソリタ T 配合顆粒 3号 包	100	2022.5	薬局	薬剤師
アローゼン顆粒	30	2024.9	薬局	薬剤師
チラーヂン S 錠 50 μ g	100	2022.3	薬局	薬剤師
メルカゾール錠 5mg	20	2022.5	薬局	薬剤師
コロネル錠 500mg	50	2023.8	薬局	薬剤師
ザクラス配合錠HD	20	2024.1	薬局	薬剤師
フェブリック錠 20mg	20	2024.8	薬局	薬剤師
アルファカルシドール錠 0.5 μ g	30	2022.12	薬局	薬剤師
タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.2mg	20	2023.6	薬局	薬剤師
コートリル錠 10mg	50	2022.4	薬局	薬剤師
ウルソデオキシコール酸錠 100m g	300	2021.12	薬局	薬剤師
ミニリンメルトOD錠 60 μ g	50	2021.5	薬局	薬剤師
デュファストン錠	20	2022.12	薬局	薬剤師
ベルソムラ錠 15m g	20	2023.12	薬局	薬剤師
ルボックス錠 25m g	50	2022.5	薬局	薬剤師
カタプレス錠 75 μ g	50	2024.8	薬局	薬剤師
ラモトリギン錠 25mg	100	2023.12	薬局	薬剤師
ラモトリギン錠 100mg	50	2023.5	薬局	薬剤師
フェロミア顆粒 8.3% g	300	2024.6	薬局	薬剤師
レボトミン顆粒 10%	20	2022.9	薬局	薬剤師
イグザレルト錠 10mg	20	2023.7	薬局	薬剤師

ロスバスタチン錠 2.5m g	20	2023.1	薬局	薬剤師
カルベジロール錠 2.5m g	20	2024.9	薬局	薬剤師
オルメテック OD 錠 10m g	50	2023.6	薬局	薬剤師
ロゼレム錠 8mg	50	2023.4	薬局	薬剤師
ツムラ 43 六君子湯 包	50	2024.12	薬局	薬剤師
ツムラ 54 抑肝散 包	50	2024.8	薬局	薬剤師
ツムラ 100 大建中湯 包	50	2024.3	薬局	薬剤師
ビオフェルミン配合散 g	300	2023.6	薬局	薬剤師
ビオフェルミン R 散 g	100	2023.7	薬局	薬剤師
ラックビー微粒 N g	200	2024.1	薬局	薬剤師
センノサイド顆粒 8%	100	2023.9	薬局	薬剤師
ピコスルファート Na 内用液 10ml	50	2023.7	薬局	薬剤師
テレミンソフト坐薬 10m g	50	2024.7	薬局	薬剤師
テレミンソフト坐薬 2m g	20	2023.6	薬局	薬剤師
ダイアアップ坐剤 4m g	30	2023.7	薬局	薬剤師
ダイアアップ坐剤 6m g	30	2022.6	薬局	薬剤師
ダイアアップ坐剤 10mg	30	2023.4	薬局	薬剤師
ソリタ T3 号輸液 500ml	10	2022.4	薬品庫	薬剤師
ソルラクト輸液 500ml	10	2021.12	薬品庫	薬剤師
ビーフリード輸液 500ml	10	2021.4	薬品庫	薬剤師
生食 500ml	5	2021.2	薬品庫	薬剤師
生食 100m l	20	2022.3	薬品庫	薬剤師
クラビット点滴静注バッグ 500mg	10	2021.8	薬品庫	薬剤師
セフォチアム静注用 1 g	10	2022.7	薬品庫	薬剤師
ユナスピン静注用 1.5 g	10	2022.9	薬品庫	薬剤師

【備品】

品名	数量	保管場所	メンテナンス担当
弁当箱	400	厨房内	栄養管理士
ディスプレイ容器等	750	厨房内	栄養管理士
割りばし・スプーン	300	厨房内	栄養管理士
カセットラジオ	2	1F・4F	災害対策委員
大工道具・その他	一式	1F 事務所	災害対策委員
懐中電灯	2	1F・3F	災害対策委員
衣類・毛布	10	倉庫	災害対策委員
コードリール 20M	1	1F	災害対策委員
携行管 20L	1	1F	災害対策委員
エアーマット	5	1F	災害対策委員

パーテーションテント	5	1F	災害対策委員
養生テープ	20	倉庫	災害対策委員
拡声器			
ヘルメット			
担架			
ビニールひも			
ラップ			
電池			
ガスコンロ			
携帯ラジオ			
水囊			
延長コード			
ヘッド用懐中電灯			

(9) 資金手当て 作成担当：小山

災害に備えた資金手当てを検討し、記載する（火災保険など）。

緊急時に備えた手元資金等（現金）について記載する。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 代理店 グローバルアイディアル株式会社 TEL 090-7925-5356 補償条項 火災・水災 緊急時手元現金資金・・・十八親和・北九州・鹿児島銀行
--

*地震保険の保険契約については地域によって制限がある

2. 緊急時の対応

(1) BCP発動基準

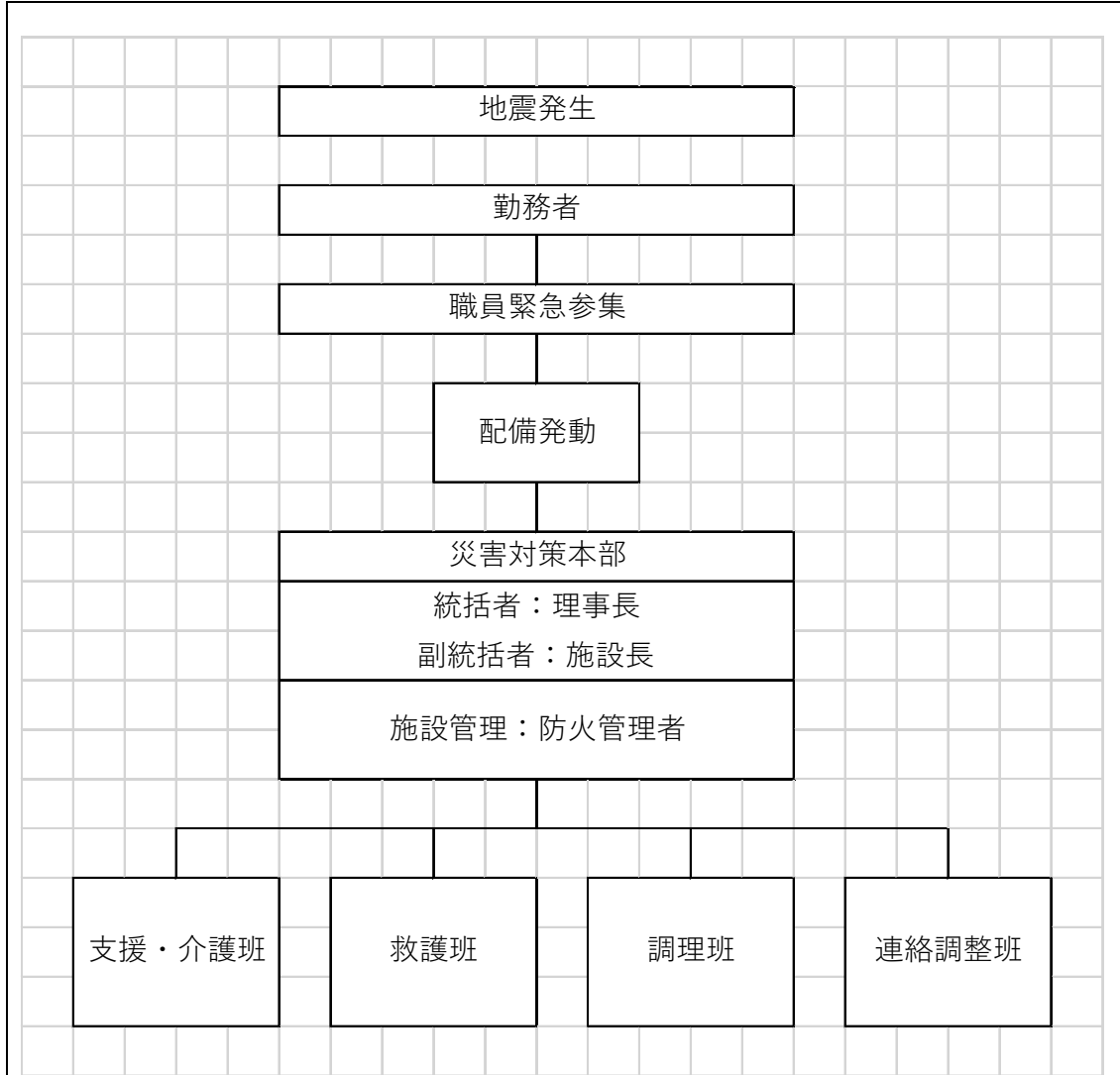
地震の場合と水害の場合に分けてBCPを発動する基準を検討。

【地震による発動基準】 想定地震区域における震度5以上の揺れの情報 【水害による発動基準】 高潮注意報警戒レベル2が発令した時点で情報確認開始し避難指示

理事長	代替者①	代替者②
-----	------	------

中村 佳奈	院長 岩永 正彦	療養部所属長
-------	----------	--------

(2) 災害時組織体制



(3) 対応体制

対応体制や各班の役割を図示する。代替者を含めたメンバーを検討し記載する。

施設設備管理班→事務
 被害情報収集班→事務
 患者データ整理班→事務
 給食食糧調達班→管理栄養士

責任者→防災管理責任者
 診療部長

診療班→看護役職者
 救急対応班→看護役職者
 患者転送班→看護役職者
 医療調達班→薬剤師

(4) 対応拠点

緊急時対応体制の拠点となる候補場所を記載する（安全かつ機能性の高い場所に設置する）。

第1候補場所	第2候補場所	第3候補場所
虹の家本館 1F 事務所	正面玄関横駐車場	式番館

(5) 安否確認

① 利用者の安否確認

震災発生時の利用者の安否確認方法を検討し、整理しておく（別紙で確認シートを作成）。なお、負傷者がいる場合には応急処置を行い、必要な場合は速やかに医療機関へ搬送できるよう方法を検討する。

【安否確認ルール】

利用予定表・バイタルチェック表

【医療機関への搬送方法】

災害状況と現状をふまえて院長が判断する。

② 職員の安否確認

地震発生時の職員の安否確認方法を複数検討し準備しておく（別紙で確認シートを作成）。

【施設内】

第一避難場所に参集し安否確認

【自宅等】

災害対策本部へ従業員が安否確認の連絡を入れる
状況によるが携帯電話での確認（緊急連絡網）および職員共有アプリケーション（サイボウズ）での送受信

(6) 職員の参集基準

発災時の職員の参集基準を記載する。なお、自宅が被災した場合など参集しなくても

よい場合についても検討し、記載することが望ましい。

参集基準・・災害対策本部委員および半径2キロ圏内に居住する職員
自宅被災時・・従業員の安全確認後に状況により判断

参集後に帰宅困難に陥る可能性があった場合に施設での非常食等の限りがあるので、
現状及び外部の状況次第で参集を行う。
交通機関の麻痺やライフラインの寸断時は災害対策本部への連絡と自宅待機し安否確認
を行う。

(7) 家族への連絡・引き渡し【通所の場合】

【地震】

【連絡方法等】

・連絡先一覧（電話番号・メール）を作成し、電話にて連絡

【連絡がつかない場合】

・メールにて連絡を行う
・災害用伝言ダイヤル・災害用伝言版の利用

※利用者家族の連絡先については別途整理しておく

(8) サービス停止基準の検討【通所の場合】

【風水害】

台風などの接近により甚大な被害が予想される場合は、あらかじめサービスを停止することを余儀なくされる。どのような場合にサービスを停止するか行政とも相談しながらサービス停止基準を定めて、利用者家族へ説明しておく。

【サービス停止の目安や考え方等】

・公共交通機関の運行状況
・他事業所の状況
・各市町村の公共施設の状況

(9) 施設内外での避難場所・避難方法

【施設内】

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	1F 多目的室 3F 病棟	被災状況や避難時間により屋上
避難方法	車椅子等での誘導 ベッドごと誘導	シーツ等を利用して徒手搬送で 避難

【施設外】

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	千代小学校	福岡高等学校
避難方法	車椅子等 送迎車 徒歩	車椅子・送迎車・徒歩

(10) 重要業務の継続

災害発生時にサービスを提供している事業
1. 療養介護・医療型障害児入所・医療型短期入所 人工呼吸器電源確保・吸引器電源確保・水分栄養摂取・服薬・排泄
2. 通所サービス（医療型短期入所除く） 水分栄養摂取・服薬・排泄
上記に重きを置き、支援実施。

(11) 職員の管理

① 休憩・宿泊場所

震災発生後、職員が長期間帰宅できない状況も考えられるため、候補場所を検討し、指定しておく。

休憩場所	宿泊場所
1F フロア	4F 予備室
診察室	4F 当直室
式番館	3F・4F 居室

② 勤務シフト

震災発生後、職員が長期間帰宅できず、長時間勤務となる可能性がある。参集した職員の人数により、なるべく職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組むよう災害時の勤務シフト原則。

【災害時の勤務シフト原則】
A・Bグループに分けて勤務してもらう。
災害状況により勤務スタッフを選出する。

(12) 復旧対応

復旧作業が円滑に進むように施設の破損箇所確認シートや各種業者連絡先一覧を整備し、別紙として添付しておく。

<建物・設備被害点検シート例>

	対象	状況 (いずれかに○)	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大/軽微/問題なし	
	エレベーター	利用可能/利用不可	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能/利用不可	
	電話	通話可能/通話不可	
	インターネット	利用可能/利用不可	
	・・・		
(建物・設備 フロア単位)	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	キャビネット	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	
	照明	破損・落下あり/被害なし	
	ブロック塀	破損・落下あり/被害なし	

防災関係機関等緊急連絡先一覧表

情報	機関	機関名	電話番号	
行政情報	消防	博多消防署	092-475-0119	
		博多消防署 堅粕出張所	092-641-0047	
	警察	博多警察署	092-412-0110	
		千代交番	092-651-2575	
	市(区)	福岡市役所	092-711-4249	
		博多区役所	092-419-1004	
	県	福岡県防災危機管理局	092-643-3112	
		福岡県障害者福祉課	092-643-3262	
	ライフライン	電気	九州電力株式会社	092-761-3031
			九州電力 福岡東営業所	0120-986-204
ガス		西部ガス株式会社	092-633-2251	
		西部ガス 相談センター	092-633-2345	
上水道		福岡市水道局	092-532-1010	
		東部保全事務所	092-641-1197	
下水道		博多区維持管理課	092-419-1062	
電話		NTT 西日本 福岡支店	092-714-8200	
		NTT 西日本 相談センター	0120-019-000	

	協力医療機関	福岡和白病院	092-608-0001
	医療機関	貝塚病院	092-632-3333
	設備全般	東部冷熱工業	092-962-4400

他施設との連携

1. 連携体制の構築

(1) 連携先との協議

以下の施設との連携協議を実施しているところである。
以後は、具体的な内容について協議を行い、協定書作成を目指す。

【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	連携内容
社会医療法人財団池友会 福岡和白病院	092-608-0001	患者受け入れ 医療応援
NPO 法人列島会 創造館	093-512-5777	介護職員応援
社会福祉法人絆の会 ひなた家	093-618-7566	患者受け入れ
久山療育園	092-976-2281	患者受け入れ

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
木村病院	092-641-1966	負傷者治療
千鳥橋病院	092-641-2760	負傷者治療
こども病院	092-682-7000	障害児受入

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
千代校区自治会		ボランティア協力要請
福岡市保健福祉局障害 福祉課	092-711-4249	情報共有 福祉避難所について
福岡市こども未来局発達支 援課	092-711-4178	情報共有 福祉避難所について
福岡市社会福祉協議会	092-751-1121	ボランティア協力要請
福岡市社会福祉協議会	092-584-3377	支援者協力要請

2. 連携対応

(1) 事前準備

具体的な被災に基づいた連携協定を結んでいない。今後連携協定を結ぶべく、さらなるネットワークの構築を図る。(課題)
障がい児において最大5名まで受入る避難所としてこども未来局と契約を交わしている。

(2) 利用者情報の整理

- ・生活介護：既存のリスク管理票を代用する。
- ・就労部：利用者一覧（基本情報）を作成
- ・療養部：アセスメントシートを作成

(3) 共同訓練

連携協定を締結時共同訓練について提案を行う。(課題)

II. 地域貢献

1. 被災時の職員の派遣

(1) 災害福祉支援ネットワークへの参画や災害派遣福祉チームへの職員登録

「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン」では、都道府県は、一般避難所で災害時要配慮者に対する福祉支援を行う災害派遣福祉チームを組成することが求められており、それらが円滑に実施されるよう都道府県、社会福祉協議会や社会福祉施設等関係団体などの官民協働による「災害福祉支援ネットワーク」を構築するよう示されている。

社会福祉施設等は災害派遣福祉チームにチーム員として職員を登録するとともに、事務局への協力、災害時に災害派遣福祉チームのチーム員の派遣を通じた支援活動等を積極的に行うことが期待されている。地域の災害福祉支援ネットワークの協議内容等について確認し、災害派遣福祉チームのチーム員としての登録を検討する。

福岡県「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン」において示されている、県、社会福祉協議会や社会福祉施設等関係団体などの官民協働による「災害福祉支援ネットワーク」への職員派遣登録の検討を実施する。
そのためにも、法人における最大対策の更なる強化を図り、チーム員として役割を果たすことの人材育成を目指す。

2. 福祉避難所の運営

(1) 福祉避難所の指定

令和2年に「障害児福祉避難所」登録を実施した。その定員はおおむね5名。医療機器その他の福祉用具・寝具の提供を行うことが出来る。
指定を受けた経験はないが、指定がない場合においても、施設近隣住民の障がい者等の避難5名程度に応じる準備を行っていく。

(2) 福祉避難所開設の事前準備

福祉避難所として運営できるように事前に必要な物資の確保や施設整備などを進める。
また、受入にあたっては支援人材の確保が重要であり、自施設の職員だけでなく、専門人材の支援が受けられるよう社会福祉協議会などの関係団体や支援団体等と支援体制について協議し、ボランティアの受入方針等について。

必要物資はある程度確保されている。今後はその期間により食糧衛生用品等の確保が課題となる。また支援人員確保について支援体制協議を実施していく。

<参照>福祉避難所の確保・運営ガイドライン 内閣府（防災担当）

以 上

社会福祉法人 あきの会

BCP 計画